

パラオから石垣の海人に弟子入り！

～10 月 7 日（金）対面取材@石垣市のご案内～

沖縄県とパラオ共和国の間で友好関係の強化に関する MOU（覚書）が 8 月 26 日に締結されました。この MOU では、協力・協働分野のひとつとして、「水産業」が掲げられています。

当センターと（有）琉球環境マネジメントサービス（REMS）（提案・受注者）は同国で「北部漁業協同組合における回遊魚（カツオ・マグロ類）の漁獲技術向上と水産物の加工販売を通じた組織強化プロジェクト」を実施しており、今回、同プロジェクトから若手の沖合漁師 2 名を 9 月 25 日（日）から 10 月 7 日（金）まで受け入れます。

研修では、沖縄県漁業士会の協力を得て、八重山漁協所属の漁業士が石垣市内にて漁業技術の指導を行います。同漁業士 2 名は去る 6 月にパラオで技術指導を行っており、今回はさらなる技術習得のために来日して研修を行うものです。なお、石垣市内における JICA の来日研修は新型コロナウイルス感染症発生前の 2019 年以來、3 年ぶりの再開となります。

そのため、対面取材を研修の最終日に以下のとおり行いますので、ご案内申し上げます。

1. 実施日：10 月 7 日（金）

※時間は調整後、申込者にお知らせします。

2. 取材場所：八重山漁協（漁協内の会議室を予定）

※研修の様子の写真は別途ご提供できます。

※手指の消毒とマスク着用をお願いします。発熱のある場合は来訪をお控えください。

3. 申込方法：下記の問合せ先へ遅くとも **10 月 3 日（月）正午**までにご連絡ください。

※上記期日によらず早めにご連絡により、取材時間の検討に反映できる場合があります。

【ご参考】JICA は島嶼国への「ブルーエコノミー戦略」を策定しており、沖縄を知見の共有および発信の拠点と位置付けています。現在パラオでは「島嶼国型ブルーエコノミーモデル形成プロジェクト」および上記プロジェクト等の水産分野での協力を実施しています。

【本件に関する問合せ先】

JICA 沖縄 市民参加協力課 草の根技術協力担当：朝川

TEL 098-876-6000 E-mail : Asakawa.Chika@jica.go.jp